

CT 検査の医療被ばくに関する説明書

CT 検査予定日時 年 月 日

氏名： _____ 様

□ CT 検査について

X線を使って体内の断面像を撮影し、病気の診断を行います。

検査時間は、撮影部位や造影剤使用の有無によって異なりますが、およそ10～20分です。

なお、妊娠中または妊娠の可能性のある方は、検査ができない場合がありますので、必ず事前に主治医にお伝え下さい。

□ 検査の必要性(正当性)について

CT 検査では X 線を使用するため、少ないながらも放射線による被ばくを受けます。従って、検査の必要性和メリットが、被ばくのリスクを上回ると考えられる場合にのみ検査を行います。

□ 被ばく線量の最適化について

当院では、学会ガイドラインをもとに、最適な条件で検査を行い、放射線被ばくを必要最小限にできるよう、線量管理・機器管理を行っております。

☐ 被ばく線量について

CT 検査の被ばく線量は、通常 5～30mSv ですが、検査部位や撮影方法、患者様の体格等によってはこれより多くなることもあります。一般的には、100mSv 以下の放射線被ばくによる影響はほとんどないと考えられており、発がんリスクについても食事やストレスなど放射線以外の因子によるものと区別できないと言われています。なお、当院での CT 被ばく線量は、一般的な CT 被ばく線量(下表)より低い値に管理されています。

表：CT 検査の一般的な被ばく線量（標準的な体格の場合）

検査部部位	一般的な CT 被ばく線量(mSv)
頭部(単純)	2.8
胸部(単純)	7.7
腹部～骨盤(単純または造影のみ)	15.0
胸部～骨盤(単純または造影のみ)	19.5
肝ダイナミック	27.0
冠動脈(単純＋造影)	19.6

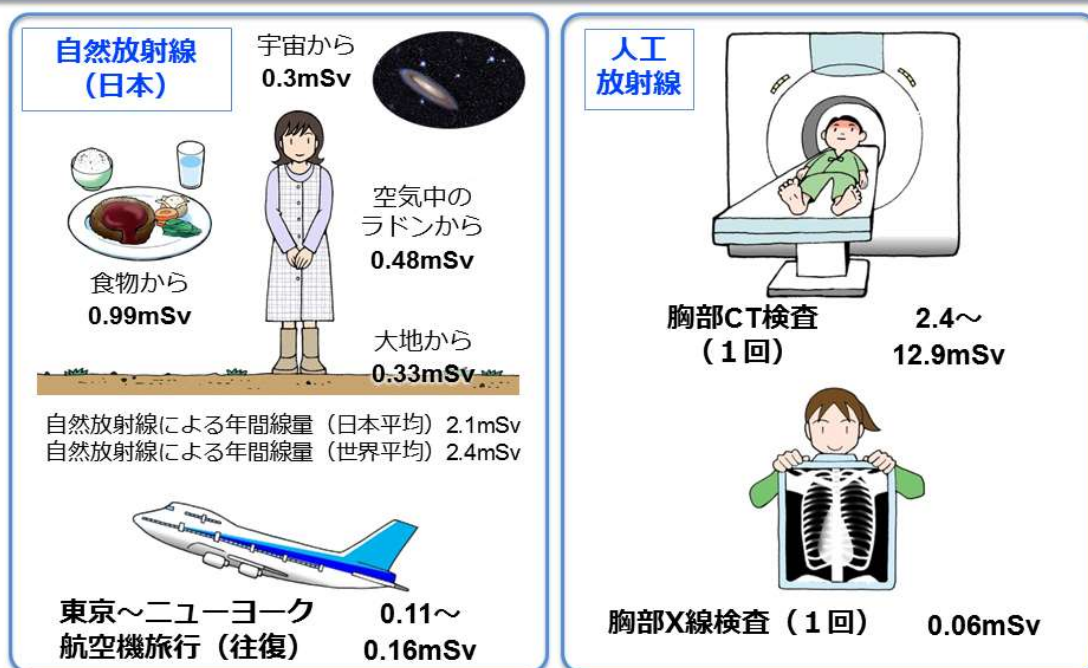
「身の回りの放射線 診断で受ける放射線量」(環境省ホームページより抜粋)

検査の種類	被ばく線量(mSv)
一般撮影：胸部正面(胸部レントゲン写真)	0.06
X線CT検査	5～30 ¹⁾
核医学検査	0.5～15 ²⁾
PET検査	2～20 ²⁾

注1) 検査部位や方法によって被ばく線量が異なります。

注2) 使用する放射線医薬品によって線量が異なります。

身の回りの放射線 自然・人工放射線からの被ばく線量



mSv：ミリシーベルト

出典：国連科学委員会（UNSCEAR）2008年報告、
原子力安全研究協会「新生活環境放射線（平成23年）」、ICRP103 他より作成

「身の回りの放射線 自然・人工放射線からの被ばく線量」(環境省ホームページより)

放射線被ばくを伴う検査についての同意書

検査予定日時 年 月 日

氏名 様

別紙説明書をよくお読み頂き、下記にご記入下さい。

なお、一旦同意されても、検査直前まで同意を取り消すことができます。

依頼および説明医師 様

このたび、

- ☐ CT 検査
- ☐ 血管造影検査・画像下治療(IVR)
- ☐ 核医学検査（他院への紹介）
- ☐ 放射線治療計画 CT（他院への紹介）

を受けるにあたり、別紙のごとく説明をうけ、理解しましたので、これに同意します。

同意年月日 年 月 日

患者様ご署名 様

（本人様が署名困難な場合は、代理人様が患者様ご氏名をご記入下さい。）

代理人様ご署名 様（患者様とのご関係） 様

被ばく線量評価のため、現在の体重をご記入下さい。： 体重 kg